

2018年10月17日

2018年度 シンビオ社会研究会 事業グループB勉強会のプログラムと概要

【日時】 11月30日(金)14時-16時30分

【場所】 (公財)応用科学研究所3号館2階会議室

(京都市左京区田中大堰町49。京阪出町柳駅から徒歩7分)

<https://www.rias.or.jp/index.php?mid=25&oid=25>

【プログラム】

受付開始 13時30分

挨拶 シンビオ社会研究会会長 吉川 榮和

第一部:事業交流活動(14時-15時25分) 司会:新田純也理事

(1) 講演「エネルギー基本計画の概要と関西スマートエネルギーイニシアティブの取組み」(14時-15時)

講師:近畿経済産業局参事官 大塚公彦(まさひこ)氏

(2) 発表「リスクモニターの概要と防災分野への適用拡大の取組み」(15時-15時25分)

発表者:寺下尚孝理事

—————【休憩】(15時25分-15時30分)—————

第二部:エネルギー勉強会活動(15時30分-16時30分) 司会:新田隆司理事

(3) 発表「海外の原子力事情」(15時30分-15時55分)

発表者:藤井有蔵理事

(4) 発表「わが国のエネルギー政策(第5次エネルギー基本計画を中心に)」(15時55分-16時10分)

発表者:新田隆司理事

(5) エネルギー政策に係る自由討論 (16時10分-16時30分)

モデレーター:新田隆司理事

閉会挨拶 副会長・勉強会担当 吉田民也

以上

講演・発表の概要

第一部	概要
<p>(1) 講演 「エネルギー基本計画の概要と関西スマートエネルギーイニシアティブの取組み」</p> <p>講師: 近畿経済産業局参事官 大塚公彦(まさひこ)氏</p>	<p>エネルギー基本計画, 水素基本戦略の概要について紹介し、国民の関心の高い FIT 制度の最新動向について説明するとともに、関西をスマートエネルギーの発信拠点となるべく組織され、短期～長期の視点により活動している関西スマートエネルギーイニシアティブについて説明する。</p>
<p>(2) 発表 「リスクモニターの概要と防災分野への適用拡大の取組み」</p> <p>発表者: 寺下尚孝理事</p>	<p>発電プラントなどの運転員を含む人間機械系システムの挙動をシミュレーションするリスクモニターを開発している。シミュレーションの結果を評価することにより運転要領書の妥当性検証等が容易に実施できる。これを地震など災害時のマニュアル検証などに適用すべく検討しているのでその内容、今後の展開、新たな応用の考察について紹介する。</p>
第二部	概要
<p>(3) 発表 「海外の原子力事情」</p> <p>発表者: 藤井有蔵理事</p>	<p>日本では福島事故の後、原子力発電の将来シナリオが不透明になっているが、欧米、中国・ロシア、新興国ではそれぞれの状況に応じて新型炉の建設、中長期の原子力開発計画が着々と進んでいる。</p> <p>そこで欧米、中国、ロシアの原子力発電プラントの運転・建設の現状と中長期の原子力開発のシナリオについて一覽し、その中で特に最近注目されている小型モジュール炉の概要を示す。</p>
<p>(4) 発表と自由討論 「わが国のエネルギー政策(第5次エネルギー基本計画を中心に)」</p> <p>発表者: 新田隆司理事</p>	<p>エネルギー基本法の概要とエネルギー基本計画策定の経緯について紹介し、特に本年7月に閣議決定された第5次エネルギー基本計画の内容を解説する。</p> <p>その上で、2030年に向けた基本的な方針と政策対応の中での各種電源の位置づけやエネルギーミックスのあり方、温室効果ガスの削減などについて、さらには2050年に向けたエネルギー転換・脱炭素化への挑戦について、今後の課題や問題点などについて自由討論を行う。</p>